

船舶事故調査報告書

平成29年2月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	不明（平成28年7月18日 14時00分ごろ～19日 06時00分ごろの間）
発生場所	山口県萩市萩漁港（中小畑） 萩港中小畑浦東防波堤灯台から真方位068° 370m付近 （概位 北緯34° 25.8′ 東経131° 24.9′）
事故の概要	漁船翔成丸は、係留中、機関室が浸水した。
事故調査の経過	平成28年10月18日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 翔成丸、14トン
船舶番号、船舶所有者等	YG2-7591（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	主機、発電機等に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、係留中、船長が、出港する僚船から本船の喫水に異常があると電話連絡を受けて本船に確認に行ったところ、機関室に浸水を認めた。 船長は、船尾管軸封装置への冷却水給水ホースから漏水していることを発見し、直ちに漏水を止めた。 船長は、冷却水給水ホースがプロペラ軸カップリングに接触し、同ホースに破口が生じているのを認めた。
分析	本船は、航行中、船尾管軸封装置への冷却水給水ホースがプロペラ軸カップリングに接触して同ホースに破口が生じたことから、係留中に船尾管軸封装置から海水が逆流して船内に浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、航行中、船尾管軸封装置への冷却水給水ホースがプロペラ軸カップリングに接触して同ホースに破口が生じたため、係留中に船尾管軸封装置から海水が逆流して船内に浸水したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・定期的に機関室内の見回りを行うこと。